

令和6年度

# 厚東小校長室だより

第4号



令和6年4月26日

## 「厚東小学校グランドデザイン」改訂

4月20日（土）の「地域参観日」「PTA総会」及び「見守り隊との対面式」には、たくさんの保護者の方や地域の方にご来校いただき、誠にありがとうございました。また、同日に開催されたNPO厚東ネット竹林事業部主催の「たけのこがり」にも、子どもたちだけでなくたくさんの保護者・地域の方々にご参加いただきありがとうございました。おかげさまでたくさんのたけのこを収穫することができ、大変盛り上がりました。子どもたちも大喜びでした。

さて、令和6年度が始まり、本校の学校経営ビジョンを示した「宇部市立厚東小学校グランドデザイン」を改訂しました（右図）。昨年度のグランドデザインには、学校を経営する立場として大切なことをたくさん詰め込んでいたのですが、たくさん詰めすぎて分かりづらい部分もありましたので、今年度は、大切な部分に絞って表現し、シンプルなものにしました。

グランドデザインは、求められる学校経営ビジョンを図にしたものです。その「求められること」とは何か。これが大切になります。学校が求められることとして真っ先にあげられるのは、子どもたちにしっかりと学力を身に付けさせ、その学力を伸ばすこと、つまり「学力定着・学力向上」です。さらに、厚東地区の地域住民の思いとして「子どもたちに厚東地区のことを好きになってもらいたい」というお声もたくさんいただいております。この2点が、現在の厚東小学校に求められていることであると考えております。

そこで、求められている学校像を「厚東を愛し、自らを高め続ける『厚東っ子』が育つ学校」と設定し、それをグランドデザインの土台・基盤として考え、それを実現するための様々な手立てを具体的にかつ分かりやすく示しました。また、このような学校を実現するための指針として、学校教育目標を昨年度と同様に「自ら学びの力を高め、人間性豊かに生きる児童の育成」としました。さらに目指すべき子どもの具体的な姿「育みたい児童の資質・能力」として、「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「たくましい子ども」の3つをあげ、それについてさらに具体的な姿を設定しました。

下段の丸囲みにある学校像と、上部に記載した「育みたい児童の資質・能力」（3つの子どもの姿）の間に記載していることが、ご協力をいただく団体や機関、さらに学校が取り組んでいく手立てになります。子どもたち自身が意識できるようにするための「チャレンジ目標」も設定しました。教職員も、子どもたちも、このグランドデザインに表された児童像・学校像の実現のために、様々な取組を繰り広げていくことができればと考えております。

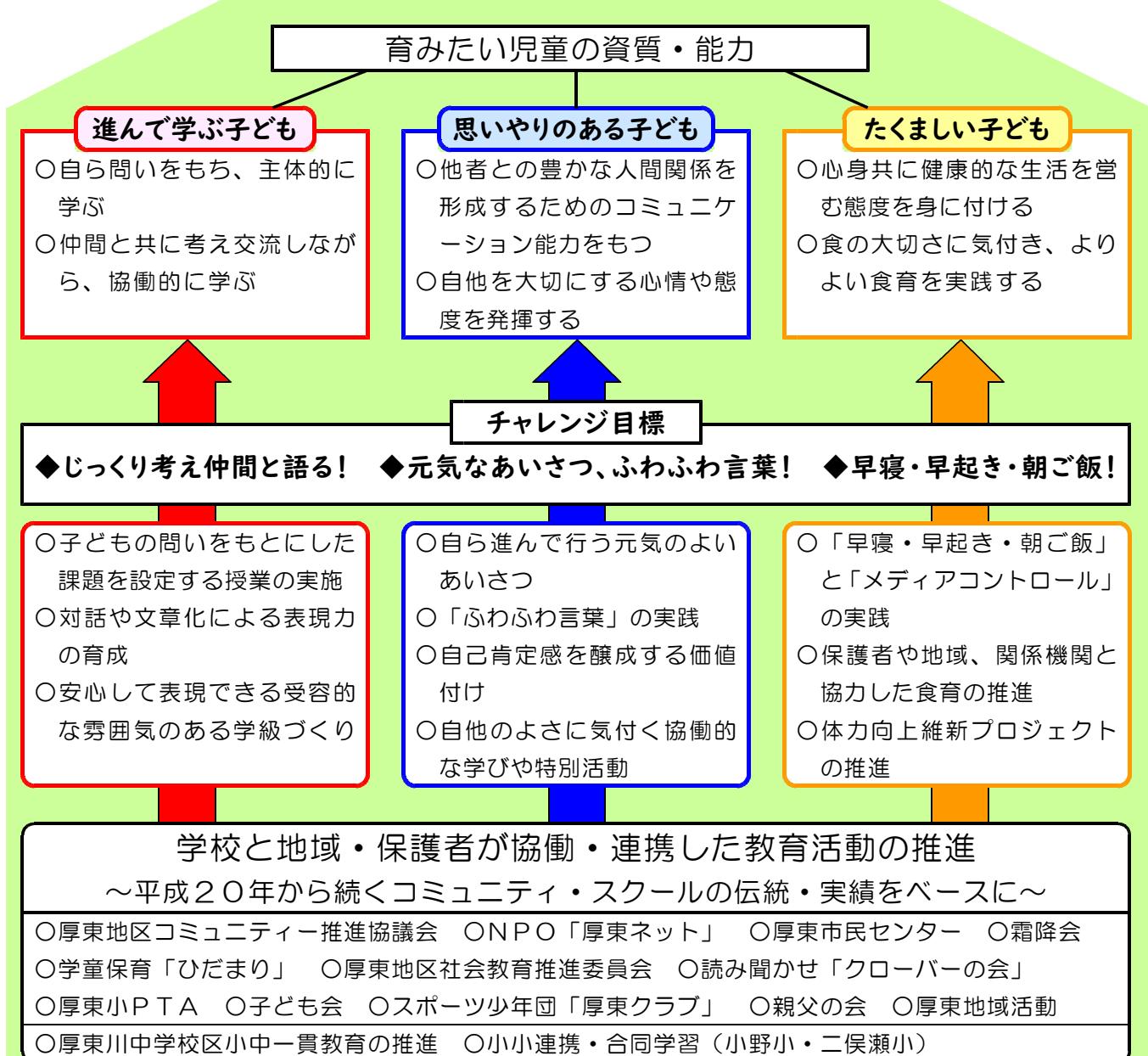
ちなみに、めざす学校像（丸囲み）の下部に、「～地域が子どもを育て、子どもが地域を盛り上げる～」と添えています。厚東地区は子どもたちのために様々な取組をしてくださっています。まさに「地域が子どもを育てる」ことを実践していただいている。これからは、子どもたちも「地域のためにできること」を考えられるような取組を行い、地域を盛り上げていくことができればと思います。保護者の方、地域の方々におかれましては、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



# 令和6年度（2024年度） 宇部市立厚東小学校 グランドデザイン

学校教育目標

自ら学びの力を高め、人間性豊かに生きる児童の育成



## 厚東を愛し、自らを高め続ける 「厚東っ子」が育つ学校

～地域が子どもを育て、子どもが地域を盛り上げる～

開かれた学校づくりのために

- 学校運営協議会、PTAとの連携・協力
- 「学校だより」「校長室だより」やHPによる情報発信
- 地域と連携した教育活動の推進
- 特認校就学制度の推進

ありたい教職員像

- 学び続ける教職員
- 遊び心のある教職員
- つながり合い、支え合う教職員
- 厚東に誇りをもつ教職員